

コンパクトLEDサーモメーターキット 取扱説明書

製品番号	05-07-0009 (シルバー)
	05-07-0010 (ブラック)
	05-07-0011 (レッド)

適応車種	GROM	(JC61-1000001 ~)
		(JC61-1300001 ~)
		(JC75-1000001 ~)
		(JC92-1000001 ~)
	MSX125/MSX125SF/MSX GROM (MLHJC92)	
	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル (MLHJB02)	
	CT125	(JA55-1000001 ~)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

◎当製品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

◎ GROM/MSX125/MSX125SF/MSX GROM の場合ハンドルガードと同時装着出来ません。

～特 徴～

○削り出しのハンドルクランプにサーモメーターを取り付ける、モンキー 125・GROM・MSX GROM・CT125 専用のキットです。

配線加工や複雑な作業が一切不要で手軽に取り付けが可能です。

●ご使用にあたっての注意点

社外品 H. I. D. キットには品質によりバラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。

充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適當な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

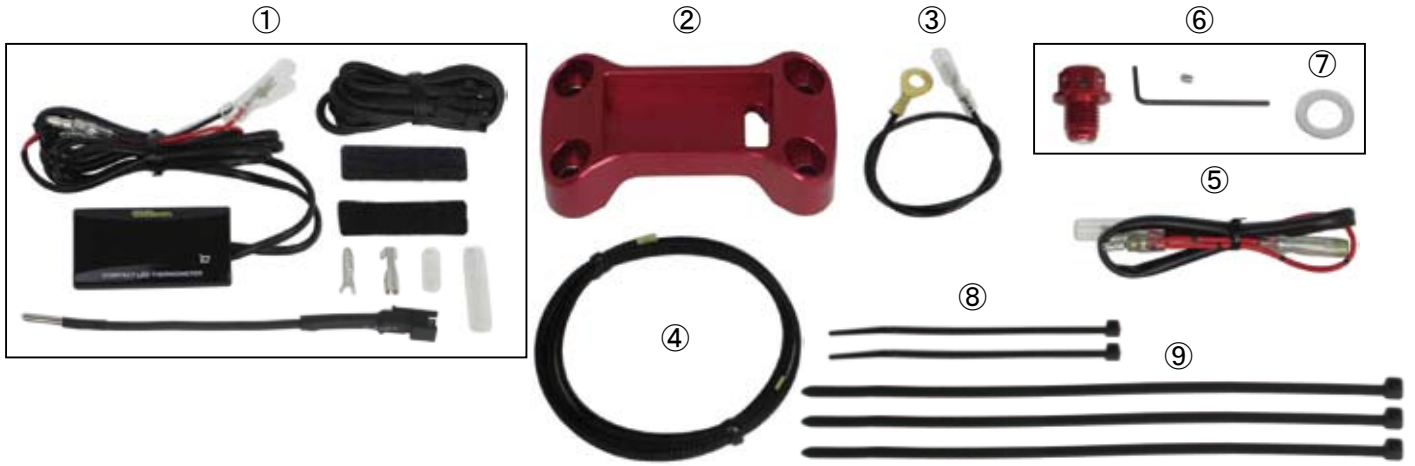
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容



番号	部品名	個数	リペア品番
1	コンパクト LED サーモメーター	1	05-07-0004
2	クランプステー	1	
3	アースコード	1	00-05-0043
4	メッシュチューブ (1m)	1	05-06-0020
5	サーモメーターサブハーネス	1	
6	アルミドリルボルト (ネオジム磁石付)	1	02-09-0025
7	シーリングワッシャ 12mm	1	00-00-0140 (5ヶ入り)
8	結束バンド 80mm (ブラック)	2	
9	結束バンド 200mm (ブラック)	3	00-00-0269 (10ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

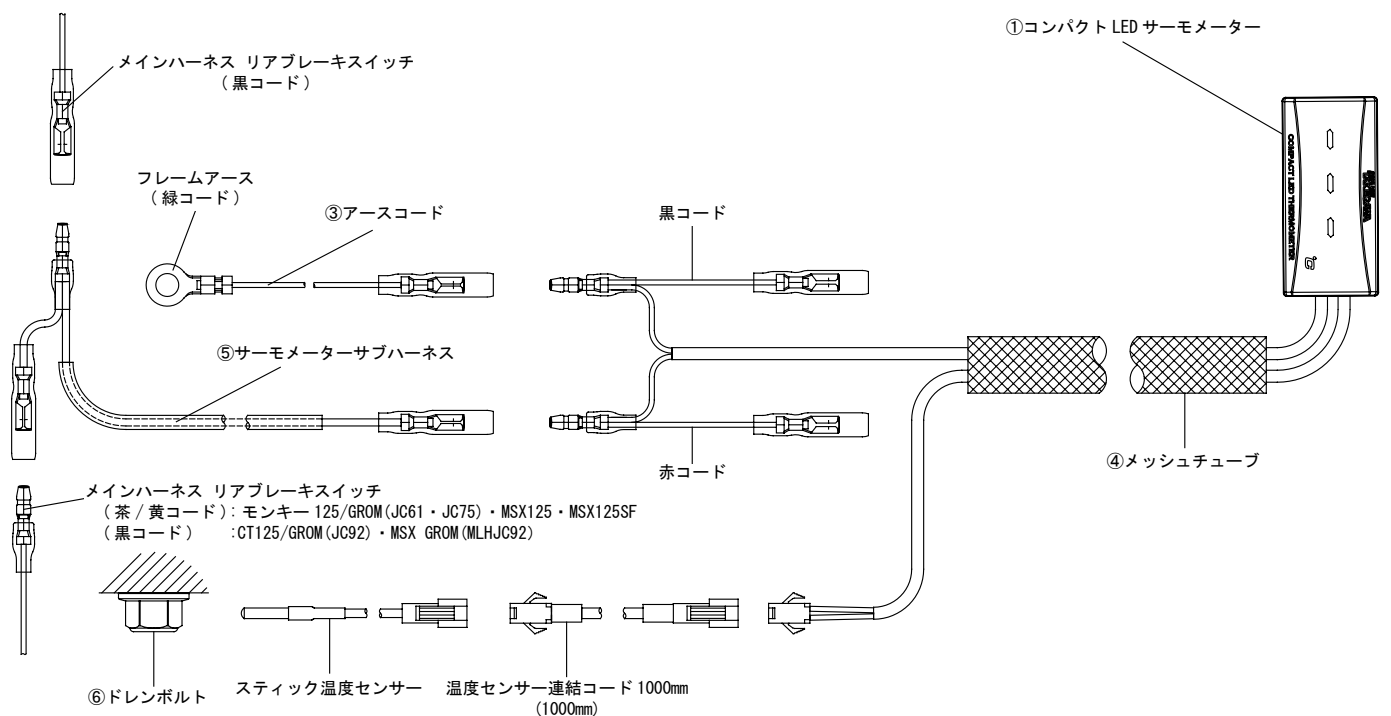
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ様
お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

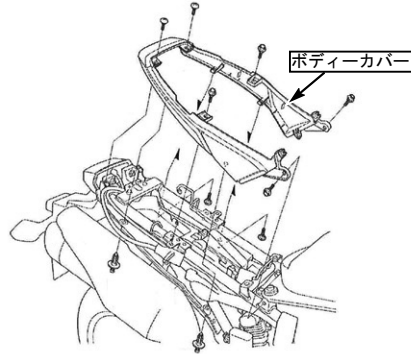
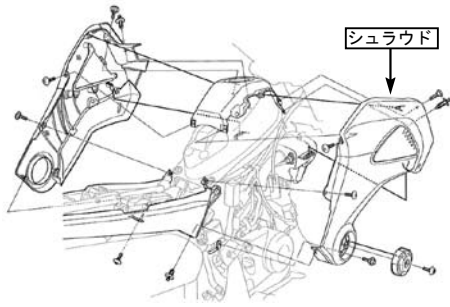
▲ 注意
本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。
外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い
作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

配線接続図

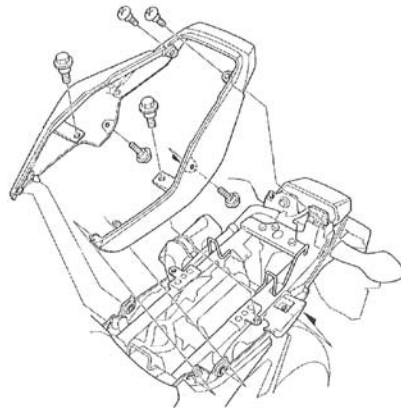
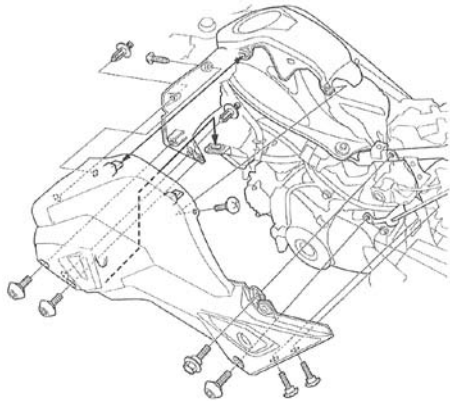


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

● GROM に取り付けの場合は純正サービスマニュアルを参照し、ボディカバー / テールカバー / シュラウド及びバッテリーのマイナス端子を取り外します。
JC61-100/MSX125 の場合



JC61-130/JC75 MSX125SF の場合



● GROM: JC92-1000001 ~ /MSX GROM (MLHJC92) の場合は純正サービスマニュアルを参照し、シートを取り外しバッテリーのマイナス端子を取り外します。
R サイドカバー・R シュラウドカバーを取り外します。
○スクリーン M5x14 3箇所取り外します。

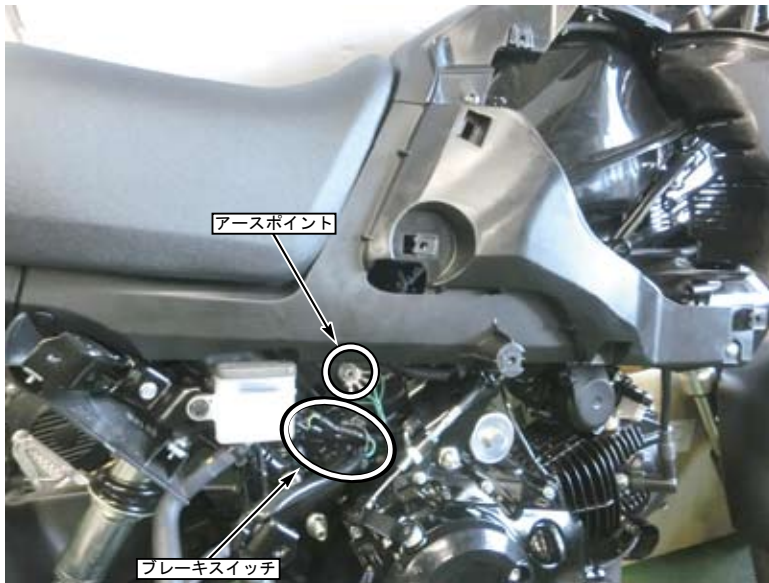


○スクリーン M5x14 3箇所取り外します。シュラウド前方の内側にあるタッピングスクリーン M4x12 2箇所取り外します。

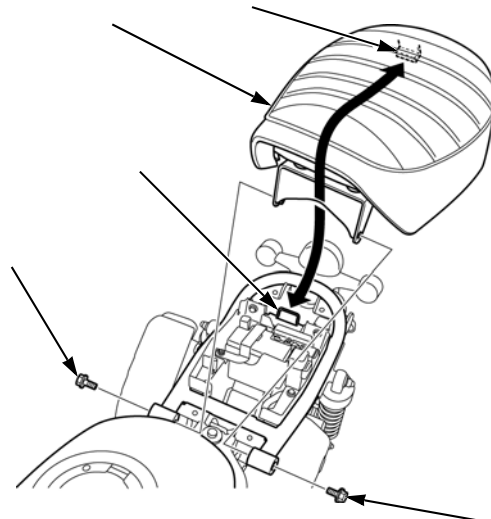
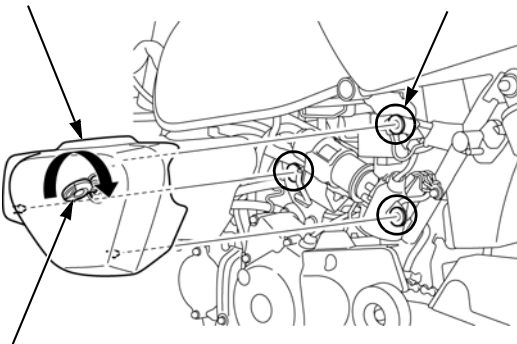


■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○ボルトを取り外し、外装を取り外します。

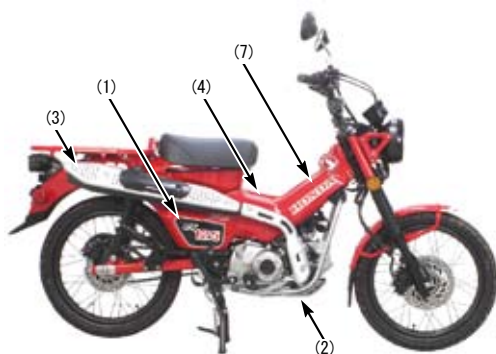


●モンキー 125 に取り付けの場合は純正サービスマニュアルを参照し、マフラー、シート、サイドカバー及びバッテリーのマイナス端子を取り外します。



●CT125 に取り付けの場合は純正サービスマニュアルを参照し、マフラー、R. サイドカバー、センターカバー、R. メインパイプカバーを取り外します。

○ (1) R. サイドカバー、(2) エンジンアンダーガード、(3) マフラー、(4) センターカバー、(5) L. サイドカバー、(6) L. メインパイプカバー、(7) R. メインパイプカバーの順で取り外していきます。



○バッテリーのマイナス端子の接続を外しておきます。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

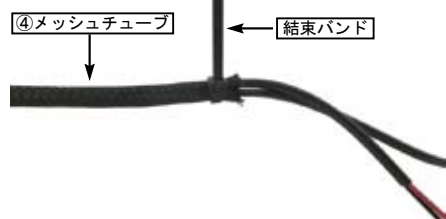
○②クランプステーに①コンパクトLEDサーモメーターのコードを通します。



○①コンパクトLEDサーモメーターの背面にマジックテープを貼り付け、②クランプステーと貼り付けます。



○④メッシュチューブを30～50cmに切断し、コンパクトLEDサーモメーターのコードに通し、両端を結束バンドで縛ります。
※メッシュチューブの長さはお好みで切断して頂き取り付けます。車体取り付け時、外から見えてしまう箇所の保護とスタイリッシュな外観を想定しています。



○キャップとソケットボルトを取り外します。

▲注意：ソケットボルトを取り外すとハンドルが倒れタンク等が損傷する場合がありますので、必ずハンドルを保持した状態で作業を行って下さい。



○①コンパクトLEDサーモメーターのコードを挟まない様に②クランプステーを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：27N・m (2.7kgf・m)



○①コンパクトLEDサーモメーターのコードを車体左側（サイドカバー付近）に取り回します。
※CT125の場合は、車体右側（サイドカバー付近）に取り回します。
○③アースコードのギボシを付属のギボシに変更します。
○車体左側サイドカバー周辺のアースに③アースコードを取り付け、配線接続図を参考に、コンパクトLEDサーモメーターのコードと接続します。
※CT125の場合は、車体右側にアースポイントがあります。



○車体右側のリアブレーキスイッチの接続を外し、ブーツに⑤サーモメーターサブハーネスを通します。



○配線接続図と画像を参考にギボシを接続し、配線をブーツの中に入れます。
※CT125/GROM (JC92)・MSX GROMにはブーツはありません。



○⑤サーモメーターサブハーネスを取り回し、配線接続図を参考にコンパクトLEDサーモメーターのコードと接続します。
○ドレンボルトを取り外しキット付属の⑦シーリングワッシャーと⑥ドレンボルトを取り付けます。

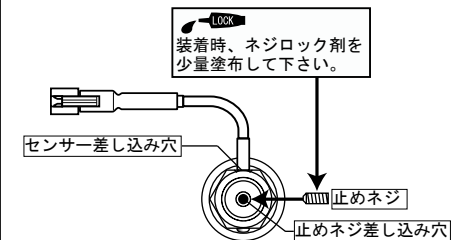
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
シーリングワッシャー / ドレンボルト
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

○スティック温度センサーと温度センサー連結コード1000mmを接続し①コンパクトLEDサーモメーターのコードと接続します。



○オイルフィルタースクリーンは絶対に外さないで下さい。
万が一マグネット部が脱落した場合、エンジン内部への混入防止のためです。
○センサーをドレンボルトに差し込み付属の止めネジで固定して下さい。
脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。

▲注意：止めネジを締め過ぎ、センサー部が大きく変形すると温度を測定できなくなってしまう可能性がありますのでご注意下さい。



○各コードの接続が完了しましたら、マイナス端子を取り付け、キーをONにして動作を確認します。
○メーターの動作を確認し、コード類を挟み込まない様に注意し純正部品を逆手順で組み付けます。